

社会健康医学系専攻科目

授業科目名 <英訳>	疫学 I (疫学入門) Epidemiology I			担当者所属・ 職名・氏名	医学研究科 教授 中山 健夫 医学研究科 教授 佐藤 俊哉 環境安全保健機構 教授 川村 孝 滋賀医科大学 教授 三浦 克之 東京都健康長寿医療センター 研究部長 石崎 達郎						
配当 学年	専門職	単位数	1	開講年度・ 開講期	2015・ 前期前半	曜時限	金3,4	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語
【授業の概要・目的】											
<ul style="list-style-type: none"> ・本コースは医学研究科社会健康医学系専攻の必須科目の一つです。 ・臨床研究を含む社会健康医学（パブリックヘルス）領域において、最も基本となる疫学の考え方、方法論についての入門的な講義を行います。 ・原則として金曜3限ですが、3限と4限の2コマ連続で講義をおこなう場合があります 											
【到達目標】											
<ul style="list-style-type: none"> ・疫学の基本的考え方、用語、概念、方法論を説明できる。 ・疫学の発展的な知識を学ぶための基礎を身に付ける。 											
【授業計画と内容】											
第1回 4月17日（3限）イントロダクション（1）（中山） 第2回 4月24日（3限）イントロダクション（2）（佐藤） 第3回 5月1日（3限）コホート研究・症例対照研究（1）（中山） 第4回 5月1日（4限）コホート研究・症例対照研究（2）（中山） 第5回 5月8日（3限）介入研究（川村） 第6回 5月8日（4限）対象者の追跡（川村） 第7回 5月15日（3限）記述疫学・高齢者の疫学研究（石崎） 第8回 5月15日（4限）視聴覚教材「大いなる航海」（中山） 5月22日（3限）テスト											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
テスト（80%）、毎回の小レポート提出（20%） 平成21年度から評価方法はテストとレポートのみとしました。											
【教科書】											
特になし											
【参考書等】											
（参考書） 川村孝『エビデンスをつくる』（医学書院）											
疫学 I (疫学入門) (2)へ続く↓↓↓											

疫学 I (疫学入門) (2)

中山健夫・津谷喜一郎『臨床研究と疫学研究のための国際ルール集』(ライフサイエンス出版)
矢野栄二・橋本英樹『ロスマンの疫学』(篠原出版新社)
厚生統計協会編集『図説・国民衛生の動向』(厚生統計協会)
J Last. 『A Dictionary of Epidemiology (4th ed).』(Oxford University Press)

[授業外学習(予習・復習)等]

予習は特に必要でないが、講義の復習には十分時間をあててください。

(その他(オフィスアワー等))

- ・症例研究や基礎的研究と異なる「人間集団を対象とする」という疫学研究の意義と可能性を理解してもらえればと願っています。
- ・本コースの内容の多様性と一貫性を保つために、担当教員はシラバス作成時、学期中、終了後など、適宜、意見交換を行い、講義資料を共有して連携を図っています。
- ・担当教員による協議の結果、平成21年度から記述疫学、公的な統計資料の活用法に関する講義を追加しました。
- ・留学生対応として、講義資料の事前提供、Key termの日英併記を進めます。
- ・平成21年度から評価方法はテストとレポートのみとしました。
- ・平成27年度から疫学(4単位)を疫学I・II(各2単位)に分割し、疫学IはIIよりも先に開講して、研究デザインの基本事項を講義することになりました。
- ・平成27年は日本医学会総会関西2015の開催のため、開講は4月17日となります。
- ・特別講義の予定は初回の講義で説明します。

人間健康科学系専攻学生の受講可否：可

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。